

げいび清流米ご活用の皆様へ

「豊作」判定 立春も過ぎて日も長くなってきました。今年ほど雪かきの少ない冬も珍しいです。先月もお伝えした通り、とにかく暖かく一月末には雨も降ったりしました。ところがとところが、二月に入り一転して厳しい寒さが続いています。我が家の寒暖計は-10度を記録した日もありました。現在も最低気温が-5, 6度が続き、日中でも2, 3度位にしか上がりません。そんな折、今年も、毎年このお便りでお知らせしている「たろし滝占い」が行われました。氷柱の太さでその年のコメの作柄を占うというもので、今年も岩手県中央部に位置する花巻市石鳥谷町の「たろし滝」測定会が11日同町大瀬川の現地で行われました。天気予報もない昔は、稲の作柄を予想する大事な習わしだったので、予報が発達した現在でも県内外の農業者にとっては相変わらずの関心事としてニュースになります。平成最後となる45回目の測定会は東京や仙台からも駆けつけた参加者約150名の見守る中で行われ、昨年の記録を1メートル上回る5.5メートルを記録、「豊作」と判定されました。因みに平成29年は途中で崩落で「不作」予想。実際の作柄も不作でした。遡ること平成5年の大冷害の年は全く氷柱が出来ず仕舞いでした。要するに氷柱が太るほど寒くないとお米は穫れないということで、取りあえず一安心した次第です。



平成最後の「氷柱」

TPP11、日欧EPA



巷では、輸入ワイン、チーズ、牛肉等が安くなると大歓迎のようですが生産者としては、相当シビアな局面に至っています。数年前から予想されていたこととは言え、年明け後大量のワインが輸入されたり、牛肉の輸入量が前年比60%も増えたと言う報道に触れたりすると、正直危機感を持たざる得ません。この事態を想定してか国は農家に2つのキーワード「6次化」と「輸出」を求めています。「6次化」とは、加工業のことです。この流れで乳製品の加工(チーズ、バター) 国産ワインが次々に誕生しました。我が家のエゴマ油もこの施策に乗りました。もう一つのキーワード「輸出」は国内市場の縮小と国際情勢から避けて通れないものとして、2020年までに1兆円の農畜産物の輸出目標を掲げています。従って、農業法人経営を中心に輸出のセミナーや展示会の案内が舞い込みます。3年前、JETRO 主催のUAEドバイ向けの輸出セミナーに参加しました。とにかく現地を一度見てみろとの勧めもあり、今月3日~7日まで現地を視察してきました。正直、気候風土や食文化の違いから日本米のハードル

モスク はかなり高い印象を受けました。しかし、何れにしろ輸出も想定した国際生産工程認証 (GLOBALG.A.P.) の取得は避けて通れない時代になったようです。

3月の発送日は15日です。(毎月第三金曜日)

※発送日より3日経っても届かない場合は下記までお問い合わせください。

※天候不良等で高速道路が通行止めになりますと荷物の配達が遅れる場合がございますのでご容赦下さい。



日向には福寿草が咲き始めています。春は着実に近づいています。

直売所

旬の逸品でご好評頂きました品々です。まだ多少在庫ございますのでご希望の場合はご用命下さい。

えごま油2,284円/150g (税込) ※通常 2,484円

焙煎えごま粒480円/100g (税込)

たかきび粒350円/200g (税込)

ご注文方法: 郵便振替用紙通信欄に数量、お届け日を明記の上ご注文下さい。下記フリーダイヤル、FAX、Eメールでもお受け致します。 ※尚、お米と一緒に

お届けにしますと片隅に入れられる分は送料が掛かりませんのでご利用下さい。



お問い合わせ先

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字田の萱 58

フリーダイヤル 0120-81-4153

FAX 0191-47-2769

Eメール okome@81-4153.com

<http://www.facebook.com/soji.sato>

生産者ブログ「山間のたんぼ」 <http://81-4153.seesaa.net/>

合同会社 田舎モノ 代表社員 佐藤 想司

※日中は農作業のため留守電が応対します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡いたします。

